府中ハンドレッドクラブ
シンボルマーク

HUNDRED CLUB
No.24

粟根建設㈱

創業：大正７年
（1918年）

「続けることの難しさ」を心に刻み経験と実績を一歩一歩積み重ねていく

昭和６年本村小学校増築工事の感謝状と、
昭和７年本町公会堂建築工事の感謝状

3代目 粟根 一幸さん

代表取締役社長 **粟根 一幸**（あわね かずゆき）さん

府中ハンドレッドクラブ通信第24回は、大正7年創業の粟根建設㈱です。創業当時から総合建設業として、住宅、店舗・事業所から公共施設、神社仏閣などを手掛けてこられました。府中市を拠点に発展してきた歴史を、エピソードを交えてお話しいただきました。

総合建設請負業からスタート

初代の祖父粟根仁一（にいち）は、当時大工の棟梁であった北川条一さんを師匠と仰ぎ、修行し番頭として勤めていた時、条一さんが北川船具製作所（現㈱北川鉄工所）を創業したのを機に、大正7年「家のことなら電気の笠まで請け負う」総合建設請負業を始めました。当時の府中では革新的な取り組みで、大工だけでなく水回りや電気など、建物一式を引き受けるというものでした。

当時、地元には当社以外に公共工事を請け負う会社がなく、尾道や福山の業者と競合するくらいでした。戦中は、徴兵で男手が少なくはなりましたが、そのまま府中で仕事を続けていました。そのため、甲山の小学校の建設を受けた時は、人手不足を補うため、生徒が材料や道具を運ぶのを手伝ったそうです。祖父に、軍の建設関連に携わる工兵将校として戦地へ行かないかという話があったそうですが、断ったと聞いています。「贅沢は敵だ」という時代、新しい木材を使うことは贅沢とされ、昭和19年に建てた粟根家の本宅も、解体した木材が沢山使われました。

祖父は仕事人間で、めったに怒らない人でした。資金面のことは、祖母が担当していたので、資金繰りなどお金のことを心配することなく、納得のいく仕事に専念できたのだと思います。時間も手間もかけた堅実な仕事をしていたので、大きな儲けはできませんでしたが、信頼していただいていたお陰で、仕事は途切れることがなかったようです。そして現在も変わらず、営業のいらない仕事を続けることができています。今の形態の礎をつくってくれたのが祖父であり、祖父が始めた総合建設請負業が当社の基盤になっています。

昭和36年頃、祖父は脳梗塞で倒れ、その後回復してからは、祖母と一緒に私たち孫の世話をしてくれました。昭和51年3月、現在の社屋を新築した際、会社が好きだった祖父のためにゆっくり昼寝でもして過ごしてもらおうと3階の南向きの部屋を用意していましたが、完成を待たずその年の1月に亡くなりました。

仕事一筋、頑固な2代目 粟根清二

仁一夫婦は子宝に恵まれず、甥であった父の粟根清二を養子に迎えました。呉市出身の父は、大阪工業大学の電気科を卒業。当時としては背が高く、空手八段という屈強な人でした。大学卒業後入隊する前に戦争が終わり、大阪で就職した後、昭和25年に粟根家に入り仕事を引き継ぎました。そして、祖父が昭和51年に他界すると同時に社長に就任しました。

社長としては20年余りですが、祖父が倒れてからの15年間も、実質の社長業をしていたことになります。私が子どもの頃、父は朝起きると既に仕事に出かけていて、夜寝た後に帰ってくるので、父と顔を合わせることが殆どありませんでした。

また、昭和57年頃まで、社屋の向かいに製材所を持っていました。直接山に行って木を買い付け、伐採などを請け負う山師に切り出してもらい、製材所で乾燥させ木材にして使っていました。その後、購入木材や新しい建設資材が使われるようになり、製材所は閉鎖しました。

38歳で社長に就任、3代目 粟根一幸

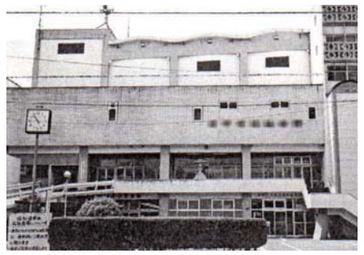
昭和54年に大学を卒業して大手建設会社に就職、2年の実務経験を経て1級建築士の資格を取り、その後当社の代表取締役専務になりました。平成7年38歳の時、父から突然「これからおまえが社長だ」と言われました。父は70歳で社長を譲ることを決めていたそうです。

父とは仕事に対する考え方が違って、よく衝突もしました。私の考えに耳を貸さない父を、一つひとつ克服するために頑張ってきました。私の前の大きな壁となって、育ててもらったということです。お陰で打たれ強くなりました。弟も1級建築士の資格を持っているので、役割分担しながら会社を運営しています。

現在、社内には1級建築士は4名、1級建築施工管理技士、土木施工管理技士など、資格取得者が多数おり、女性の現場監督もいます。能力がある技術者を育て、仮にその人が独立しても、お互いに切磋琢磨すればいいと思っています。当社にとって社員は家族であり、以前は社員の家族も一緒にバス旅行などをしていました。今も昔も、当社は企業ではなく、家業なんですね。

祖父が遺した言葉に「家業は大きくしなくていい、長く続けてくれ」というのがあります。百年という歴史、祖父や父の〝七光り〟、そして今まで支えてくださった地域の皆様への感謝を忘れず、気概を持って家業を長く続けていくため、これからの当社の未来を考えていきたいと思います。

創業者粟根仁一さんの肖像画



府中市文化会館を施工（昭和36年）

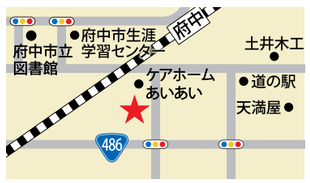
広島県立府中高等学校体育館（平成9年）

光円寺平成大改修の施工（平成22年）

事業所紹介

■所在地　府中町103-12
☎45-4427

■事業内容　総合建設業



沿革

■業暦（沿革）

大正7年　粟根仁一が飛屋で創業
昭和37年　粟根建設㈱設立
昭和51年　粟根清二が2代目就任
社屋を新築
平成7年　粟根一幸が3代目就任

施工実績

【府中警察署】
昭和15年　庁舎裏側増築工事
昭和30年　自動車車庫増築工事
昭和38年　新築工事
平成31年　耐震改修工事

【神社】
昭和53年　府中八幡神社社務所増築工事
平成5年　日吉神社本殿移転新築工事

【寺】
昭和44年　光円寺本堂修復工事
昭和54年　光円寺本堂大屋根修繕工事
平成9年　晃永寺本堂庫裡新築工事
平成13年　宝台院平成大改修
平成22年　光円寺平成大改修
平成23年　明浄寺客殿新築工事

府中ハンドレッドクラブ

平成26年11月19日設立

創業100年を超える府中商工会議所会員企業をメンバーとして、「府中ハンドレッドクラブ」を立ちあげました。このメンバーを紹介していきます。